

各関係機関団体の長
各病虫害防除員

} 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 7 年度病虫害発生予察技術情報第 3 号について

病虫害発生予察技術情報第 3 号（ファレノプシス株枯病）を発表したので送付します。

技術情報第 3 号

1 対象作物名：ファレノプシス（ラン科）

2 病虫害名：ファレノプシス株枯病

3 発生状況

- (1) 令和 6 年 10 月、県内のファレノプシス施設栽培において、下位葉に黄化症状を呈し、その後、症状を呈した葉が萎れて脱離する株が認められた。発病株を温室条件下においたところ、根の褐変組織に赤褐色の子のう殻が形成された。門司植物防疫所に同定を依頼した結果、*Neocosmospora solani*(不完全世代：*Fusarium solani*)によるファレノプシス株枯病であることが判明した。
- (2) 本病は昭和 63 年に沖縄県で初めて確認された後、栃木県、熊本県、宮崎県、鹿児島県で発生が報告されており、本県では初確認となる。
- (3) 本病は根及び葉の基部に発生し、根は乾腐症状を呈して黒褐色に変色する（写真 1）。葉では基部が灰白色～黒褐色に変色し、全体が黄化、萎れたのち脱離する（写真 2）。病斑部の表面にはしばしば赤褐色の小粒（子のう殻）が形成され（写真 3）、多湿時には白色菌糸も認められる。発病が激しい場合は株全体が萎凋して枯死する。苗での発生が多く、大きな株では短期間で枯死に至ることは少ないが、株全体の生育が健全株より劣る。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発病株は見つけ次第は場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) 発病株の植え込み資材は場外で適切に処分し、再利用は避ける。
- (3) 栽培管理に利用する器具等は消毒し利用する。



写真1 根の褐変症状



写真2 葉の黄化症状



写真3 病斑上の赤褐色子のう殻

○病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。

福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>

または右QRコード①

①⇒



○X (旧Twitter) で定期情報や警報等発出のお知らせをしています。

Xの本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL: https://x.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②

②⇒



